博士(工学)



職名:

研究タイトル: 有機ラジカル化合物に関する研究

/ 転写可能な電気化学電極の作製

学位:

所属学会•協会: 電気化学会

助教

キーワード: 有機ラジカル、電気化学センサ、ナノ接着

技術相談・電気化学反応の解析

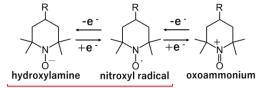
提供可能技術: 転写可能な電気化学電極テープ作製



研究内容: 有機ラジカルの電気化学反応研究と応用 / センサ・電池の作製プロセス検討

1. イオン液体中の有機ラジカル化合物の電気化学特性

有機ラジカル化合物のイオン液体中での電気化学 特性を研究しています。特に、p型・n型反応がともに 可逆的かつ安定的に起こる組み合わせについて、理 論・実験の両面から取り組みます。

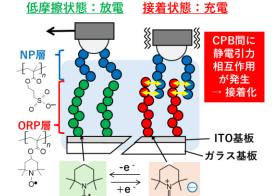


イオン液体による ラジカル反応の安定化



2. 双極性レドックスポリマーの構造制御と応用

有機ラジカルポリマーの濃厚ポリマーブラシORP-CPBと摺動面に生やしたアニオン性 CPB 間の静電的相互作用を電気化学的に制御することで、低摩擦状態と接着状態をスイッチングできるシステムの開発を目指しています。また、外部電極を不要とする、電気化学的能動制御が一つの基板上で完結を目指しています。



ラジカル状態(中性) 酸化状態(陽イオン化)

3. 多様なセンサデバイスの形状に適合するセンサ/電池作製プロセスの検討

IoT 社会の実現に向けて、センサデバイスの性能・形状は多様化しています。様々な形状のデバイスに向けて、センサおよび電源を任意に作製できる技術を開発します。その一例として、電池・センサ電極をテープ化(固形物のまま対象面に張り付ける)したものを作製します。



支持フィルム: 機械的強度に優れる。 貼り付け後、剥がす。

電機層 : 活物質を配合した層 熱融着層:

対象物への貼り付けを 可能にする粘着層



ガラス曲面にMnO₂-Zn電極 を構築した例

提供可能な設備・機器・

THE DATE OF THE PART AND THE RELL.		
名称・型番(メーカー)		